

□□ _____ □□

1. ニュース…第22回日本自費出版文化賞の1次2次選考が始まっています

□□ _____ □□

第22回日本自費出版文化賞の1次選考が終盤となり、7月6日（土）には、小伝馬町のニッケイビルで2次選考が開催されます。昨年から新しい選考委員を交えての審査です。審査に関わっていただいている皆さまありがとうございます。

□□ _____ □□

2. トピックス…清水工房創業50周年感謝展 & 揺籃社設立35周年

□□ _____ □□

山崎副代表理事の会社、清水工房・揺籃（ようらん）社さんがこのたび清水工房創業50周年、揺籃社設立35周年を迎えられます。おめでとうございます！！パチパチパチ～

それを記念して

7月12日（金）・13日（土）の両日、50年のあゆみを振り返る清水工房創業50周年感謝展を開催いたします。皆さま、ぜひお出かけください。

◎日時 2019年7月12日（金）10時～18時、13日（土）10時～16時

◎会場 八王子市学園都市センター11F ギャラリーホール

<http://www.hachiojibunka.or.jp/gakuen/>

◎内容

- ・50年のあゆみパネル（業界の変遷を一目で）
- ・自費出版物の展示（50年の成果をズラリ）
- ・揺籃社販売書籍の見本市（郷土本を多数発行してきた実績を披露）
- ・新刊書籍『八王子城主北条氏照の物語』サイン会（著者の前川實氏来場）
- ・八王子今昔写真パネル（懐かしい昔の八王子）
- ・自費出版文化賞受賞作品（当社の受賞作品も並べます）
- ・七夕コーナー（清水工房への思いや期待を一筆） など

◎配布

- ・感謝展パンフレット
- ・特別記念品（名入れボールペン） など

※内容は変更になる場合があります。予めご承知おきください

※7月12日と13日は会社の業務をお休みいたします

□□ _____ □□

3. トピックス…JaGraの機関紙に掲載されました

□□ _____ □□

JaGraの機関紙「グラフィックサービス2019年06月号（No. 811）」

<https://www.jagra.or.jp/2019/06/20/5567/>

の巻頭言には「文学フリマと印刷の魅力」として
(株)あいわプリント 渡辺辰美さまのお話が、そして23ページには
川井理事からの松本全国大会の報告が掲載されました。

□□ _____ □□

4. お知らせ…「自費出版即売会」に30店舗募集中

□□ _____ □□

自費出版の著者と読者が交流し、貴重な自費出版本の掘り出し即売会が
今年度から開催されます。
名称は役員と会員の投票により、「自費出版即売会」に決まりました。
現在、出店に該当する方々に出店希望を募っています。
最大で30店舗の募集となります。

□□ _____ □□

5. お知らせ…第16回NPO認定自費出版アドバイザー試験申込受付中

□□ _____ □□

自費出版のエキスパートアドバイザーを証明する
NPO認定自費出版アドバイザーの試験の受験申込が始まりました。
締め切りは7月19日で、試験期間は8月1日からの1ヵ月間です。
難関のため1浪2浪は当たり前・・・
とても勉強になりますので、何度でも挑戦してください！

□□ _____ □□

6. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.19

□□ _____ □□

株式会社 北斗プリント社 北斗書房
相生 隆久

京都・下鴨にて

自費出版を担当して10年、自費出版のご相談のため様々な方に
ご来社いただいています。

弊社は世界文化遺産の下鴨神社からほど近く、ご来社くださった方にも
散策をお勧めしています。
次回お会いした折に「行ってみたよ」と声を掛けていただくと、
こちらもう嬉しくなります。
こんな風に、実際に対面でお会いして、色々なお話をさせていただくのが、
弊社のスタイルです。

そのなかから、何を大切にしておられるのか、自費出版を通じて何を実現
したいのかが徐々に明らかになり、作品の完成イメージがより具体的
になっていきます。

どんな印刷物も使用目的があって制作される訳ですが、自費出版の場合は
特にこの点が重要なことと考えています。

難しいところではありますが、打ち合わせや原稿を通じて、その方の人生を追体験させていただくような楽しさもあります。

これからも自費出版アドバイザーの資格に恥じぬよう、お客様の気持ちに寄り添ってお話を伺い「自費出版をして良かった！」と感じていただける作品づくりに励みたいと思います。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 岐阜 ☆ その2

□□ _____ □□

知っとこ岐阜 その2

岐阜市はこんなところ

来年の『NP0法人日本自費出版ネットワーク 全国大会』が開催される岐阜市は、岐阜県の中南部に位置する中核地で、県庁所在地でもあります。

人口は岐阜県最大で約41万人が暮らし、中部地方では富山市に次ぐ8番目の人口規模を持つ市です。北東から南西にかけて、市内を横切るように長良川が流れています。長良川は、高知県の四万十川、静岡県の柿田川とならび日本三大清流の一つに挙げられています。また本流にダムが存在しない河川としても知られ、鮎をはじめ、特別天然記念物のオオサンショウウオなどが生息する大変美しい川です。夏になると天然の鮎釣りをする人や、川遊びやバーベキューを楽しむ家族連れなどが県外からも多く訪れます。

少し余談になりますが、岐阜市の窓口でもあるJR岐阜駅の改札を抜け外に出ると、高さ約3メートル、台座を合わせると約11mにもなる、金色に輝く信長像が皆様をお出迎えします。以前東京からお越しになったお客様が開口一番、「あの金ぴか像、岐阜の人は何も言わないの？」と言われてしまったことがあります。市民の間でも「品格がない」「いやいや、信長にはやはり金がふさわしい」と未だに意見が分かれるところです。皆様のご意見もぜひ聞いてみたいところです。

株式会社 岐阜文芸社 飯尾みゆき

★あしがき

新見南吉を実は私は絵本でしか読んだことがありませんでした。せつかく訪れたので文字だけの童話集を一冊買って読んでみました。するとどうでしょう…南吉の文章には擬態語や擬音語が散りばめられ、情景も細やかに描かれていました。今まで見えてこなかったものが見えたような気がしました。29歳という若さでなくなった南吉、「ごんぎつね」は18歳の時の作品だそうです。若さゆえ…の切なさがありますね。

「絵本」になって子どもに読み聞かせるのもいいですが、大人になって読んでみるのもまたいいな、と思った次第です。

本って本当にいいですね！！

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。